

対象	中学校 3 学年以上
教科	社会科・特別活動
該当 单元	中学 3 年 「さまざまな 国際問題」 ・地球環境問題 ・資源エネルギー 問題 他
教科書	東京書籍等
掲載日	2018. 4. 2. 朝刊 12 版 3 面

廃プラ・古紙 中国受け入れ制限

EU資源ごみ

行き場なく



2月末、英南西部トートンで、家庭から出た資源ごみを分別しながら回収する委託業者



廃プラスチックや古紙など資源ごみの世界最大の輸入国である中国が、環境規制見直しを理由に今年初めから一部の輸入を禁止し、大量に資源ごみを輸出してきた欧州諸国が頭を抱えている。欧州連合（EU）はプラスチックごみを激減させる対策を発表、当面は東南アジアなど中国以外に輸出先を探すのに必死だが、他国を「み捨てる場とする構図そのものが見直しを迫られている。（ロンドン 阿部伸哉、写真も）

不意打ち通知

「中国の環境と国民の健康を守るため、汚染がはなはだしいごみの輸入を禁止する」。昨年七月、中国政府は突然、世界貿易機関（WTO）に通知、今年一月から、家庭から出た廃プラをはじめ、ホチキス針やテープが付いたままの古紙など二十四種類の輸入禁止に踏み切った。

中国はこれまで、分別が不十分な資源ごみでも安く国外から買い、人海戦術で

リサイクル構図曲がり角

「全ての対策を考えなくてはならない。中国はもうわれわれのごみを受け入れられないからだ」 EUの欧州委員会は一月、三〇年までにプラスチック容器や包装を全て再利用

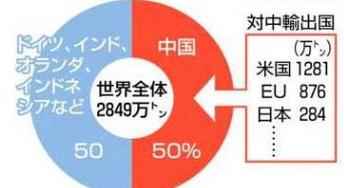
品質で選別化

「中国の環境と国民の健康を守るため、汚染がはなはだしいごみの輸入を禁止する」。昨年七月、中国政府は突然、世界貿易機関（WTO）に通知、今年一月から、家庭から出た廃プラをはじめ、ホチキス針やテープが付いたままの古紙など二十四種類の輸入禁止に踏み切った。

廃プラスチック輸入国(2016年)



古紙輸入国



※国際貿易センター調査を基に作成

分別して再利用してきた。国連とWTOの共同調査機関「国際貿易センター」（ITC）によると、二〇一六年には世界の廃プラ輸出の六割超、古紙輸出の半分を買い上げた。

環境面で先進的な欧州だが、大量の資源ごみを輸出してきた。一六年には回収した廃プラの約三割、古紙の二割弱を中国に売却。英国リサイクル協会のサイモン・エリン会長は「あまりに長い間、中国頼みが続いた。処理業者には大打撃だ」と、率直に認める。

東南アジアへ

物は輸入を続けるが、量は半分以下になるとみられる。

国際貿易センターのデータによると、日本も廃プラや古紙の対中輸出上位国。一六年は輸出廃プラの85%、古紙の70%が中国向けだった。一七年から中国向けは減少し、廃プラはベトナム、マレーシア向けが、古紙は台湾向けがそれぞれ急増。他の先進国も今後は東南アジア向けの輸出が増える

だが中国に比べて処理能力は限られる。しかも東南アジアは、中国に次いで廃プラによる海洋汚染の排出源となっており、汚染海域を拡大しかねない。リサイクル業界や環境団体には、中国の輸入規制を「転機」と歓迎する声もある。英国の処理会社「DSSミス」は英議会で「輸出に頼るモデルを脱し、リサイクルのインフラに投資するチャンス」と提言した。

問1：世界各国では資源ごみをどう処理していると思っていましたか。A～Cから選び○をつけましょう。

- A : 各国の国内で再利用するために処理されている
- B : 資源を分けて、使えるものは輸出したり再利用したりしている。
- C : 考えたことがなかった。

問2：記事をよく読み、根拠を明らかにして「環境問題」についての意見を書き、友人と意見交換しましょう。

【活用にあたって】

社会科の授業では「持続可能な社会の実現」を念頭に置いて指導する内容になっています。環境問題・資源エネルギー問題・少子高齢化問題・貧困問題・戦争と平和など問題は多岐にわたります。これらの問題は授業で学ぶことも重要ですが、日常生活で目や耳にする情報に接した際に考えていくことが重要ではないかと考えます。そこで今回のワークシートはこれまでのものとは少し形態を変えてみました。

この記事のリード文には、中国の見直しによって欧州諸国が頭を抱えていると書かれており、他国の問題のように思えますが、記事を読んでいきグラフを見ると、日本の問題でもあることに気づくことでしょう。まさに、環境問題は地球規模で考えるべきなのだと感じる内容だと思えます。

解答例

問1：素直に○をつけていけば良いと思います。

問2：記事の内容に根拠を求めて、自分の考えがもてると良いと思います。また、友人との意見交流を通して自分の気づかなかった問題点などにも注目し、考えることができると思います。